

2023年

ヘルパー通信 3月号

【 異職種からの転職 】

皆様こんにちは、私は今年で介護職5年目!!まだまだ新米の40歳ヘルパーです。

私は5年前までは介護とは全くかけ離れた職種でしか働いておらず、飛び込みでアンビシャスに入社をしました。今は利用者さん、同僚や先輩方に育てていただき、なんとか一人前のヘルパーとして日々頑張っています。

お恥ずかしい話、アンビシャスに入る前までは「介護=高齢者」としか考えておらず「障がいのある方」たちが地域で生活している事すら認識していなかったように思います。

自分の住む地域に老人ホーム等の高齢者施設が多数あるのは知っていましたが、障がい者施設が身近にあった事に気がついたのはアンビシャスで働き始めてからでした。求人サイトなどでも高齢者介護の求人の中に数件「障がい者介護」があるのみで、なお且つどのような仕事の内容なのか、自分でも務まるのか想像ができないので踏み込む勇気がなかったという感じでした。

高齢者介護も含め介護職は常に人手不足でスタッフも高齢になってきていま

す。(ちなみにケアセンターでは一応、私が一番の若手です・・・☺)

正直に言って、介護の仕事は楽ではありません。肉体的な事だけではなく、人の生活に入り込んで仕事をするわけで、それに対しての責任も伴います。なので、アンビシャスは私のような未経験者をよく採用したと思いましたが、それが実現できたのはアンビシャスの教育体制が充実しているからだと思います。資格取得支援や研修制度などスキルアップもしながら安心して働ける環境があつてのことなのだと実感しています。

そして、私はケアセンターで働いてみて、異職種からの転職もこれまでの様々な経験を活かせる部分もあるので十分に可能だと思いました。

実は元々、と~っても人見知りの私でしたが接客業を経験した事があるおかげで人との距離感を上手く縮めることが得意になり、コミュニケーション能力を上げることが出来ました。今はその能力を最大限に活かし利用者さんとの距離をグイグイ縮めて(うるさ過ぎると思われているかな? (;'▽')☺)日々楽しく派遣に入らせて頂いております。

居宅介護の仕事は身体介護のスキルだけでなく家事のスキルも必要です。私自身、家事の中には得意不得意があるので全てにおいて完璧とは行きませんが利用者さんと確認し、協力してもらいながら仕事を行っています。

介護の世界に飛び込んでみて、新たな経験もたくさんし様々な方との触れ合い

も楽しいです。このような私の体験も時々発信しながら今後も介護の仕事を長く
続けていきたいと思っていますので皆さん！これからもどうぞ温かい目で見守
ってください。

